

浦賀・鴨居地域運営協議会の趣旨及び活動状況

1 事業目的

地域のまちづくりは単に行政に要望すれば足りるという考え方から、市民と行政が一緒に考え、相互に役割を担いながら行動していくという考え方への転換を図ることにより、自主・自立した地域社会を実現していく。

2 経緯等

市民協働の推進に関しては、従来、市民生活課が中心となって進めてきた。しかし、地域毎に異なる課題やニーズを把握し、迅速かつ柔軟に対応するためには市民との距離が近い行政センターにおいて地域住民との市民協働を積極的に推進することが大切である。(地域協働)

そこで浦賀行政センターにおいては、平成 21 年度に、地区連合町内会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、観光協会、PTA、学区青少年育成活動地域連絡会、地域包括支援センターなどの組織の関係者に参加を呼びかけ、まちづくりのパートナーとなり得る地域組織として「浦賀・鴨居地域協働推進協議会」を立ち上げ、様々な地域の課題及びその解決策などの検討を行ってきた。その協議結果に基づいて、例えば、緊急医療情報キット「命の灯台」、浦賀鴨居地域の古井戸再生事業、浦賀の鍔絵彫刻の活用など、様々な事業を地域で展開している。

そして平成 24 年第 4 回定例会で、横須賀市長が「横須賀市と地域運営協議会との協働による地域自治推進条例」を提案するのに合わせて、平成 25 年 1 月 1 日から協議会の名称(浦賀・鴨居地域運営協議会)及び会則を変更する。

3 モデル地区について

(1) 浦賀・鴨居地域協働推進協議会で、横須賀市の企画提案型市民協働モデル事業(募集テーマ「地域住民と一緒に地域の課題を解決する」)に応募し、選考の結果、採用された。

(期間) 平成 23 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

(予算) 年間 40 万円の負担金を 3 カ年支給

(2) (仮称)地域運営協議会モデル地域に指定された。(平成 23 年度～)

4 平成 24 年度に実施する事業

浦賀・鴨居地域協働推進協議会の中で抽出された課題を解決するために、平成 21～24 年度に実施する協働事業

福祉 1 冷蔵庫などの中に、緊急連絡先を記載したカードなどの入ったボトルを入れておくことを地域に普及する。

【主な実施主体】

- ・浦賀地区及び鴨居地区連合町内会
- ・浦賀地区社会福祉協議会
- ・浦賀第 1 地区及び第 2 地区民生委員児童委員協議会

【実施状況】

- ・町内会を通じて必要数の把握を行い、平成 22 年度に「緊急医療情報キット『命の灯台』」4,000 本を作製した。その後、追加的に作製・配布し、当初の調査時点では必要数 3,600 本であったが、平成 24 年 11 月 1 日現在で、5,240 本を配布した。
- ・平成 23 年度以降は浦賀地区社協高齢者部会が事業を継続している。
(地区社協の予算で毎年 300 本程度を追加配布)

↑

- *この事業については、平成 22 年度に神奈川県民児協に企画提案を行い、250,000 円の単年度補助を貰い、地区社協から残り 270,000 円を出して、配布（3,850 本）を行った。平成 23 年度も同様の調査を行ったところ、地域内での認知度が高まってきたこともあり、多くの要望があり、地区社協の経費で更に 1,296 本を作製した。平成 24 年度は、地区社協の経費で 288 本を追加作製した。
なお、今後は配布数も落ち着いてくると考えており、それ程の予算は掛からないと考える（30,000 円程度）。
- ・久里浜行政センター及び大津行政センター管内でも開始されたこともあり、平成 24 年 11 月に浦賀警察署（地域課、各交番）及び消防局（消防・救急課、各消防署）に再度周知を行った。

福祉 2 介護予防サポーター養成講座を実施する。

【主な実施主体】

- ・浦賀地区社会福祉協議会（サポーターの養成）
- ・各町内会・自治会（地域での展開）

【実施状況】

- ・平成 21 年度に長寿社会課と連携して実施して人材を育成した。
- ・平成 22 年度以降、順次、各町内会・自治会で展開している。
- ・平成 23 年度に地域包括支援センターが介護に関する講演会などを実施した。
- ・平成 24 年度に浦賀・久里浜第一及び第二地域包括支援センターと浦賀地区社会福祉協議会が連携して、介護予防教室を実施した。

福祉 3 団塊の世代の地域活動への参加の機会を増やす。

【主な実施主体】

- ・浦賀コミュニティセンターほか

【実施状況】

- ・浦賀コミュニティセンターにおいて、「男の料理教室」や「悠々セカンドライフ」等の講座を実施している。
- ・高齢者等の日常生活を支援するボランティア団体が立ち上がりつつある。

観音崎自治会地域（「助け合い観音崎」設立済み。現在、有償ボランティア組織として活動中）

芝生町内会地域（現在、無償ボランティア組織として設立準備中）

↑

これらの団体の周知協力を行う。

- ・平成 24 年度はプロジェクトチームを立ち上げて、検討している。

福祉 4 孤独死対策として、地域の新聞配達店の協力を得ながら地域での見守り体制を確立する。

【主な実施主体】

- ・浦賀地区及び鴨居地区連合町内会
- ・浦賀地区社会福祉協議会
- ・浦賀第 1 地区及び第 2 地区民生委員・児童委員協議会
- ・浦賀・久里浜第一及び第二地域包括支援センター

【実施状況】

- ・平成 23 年度に関係者間の協議を行い、平成 24 年 6 月 1 日から実施済みである。
- ・ASA 浦賀、ASA 久里浜、読売センター浦賀駅前店、池谷新聞店

- ・浦賀警察署、南消防署、大津及び久里浜行政センターにも周知済み。

福祉 5 浦賀行政センター管内の人材バンクを作る。

【主な実施主体】

- ・浦賀コミュニティセンター
- ・その他

【実施状況】

- ・平成 24 年度はプロジェクトチームを立ち上げて、検討している。

福祉 6 非常時に備えて、地域の高齢者がソーラー式LEDライトと ホィッスルを携帯することを励行する。

【主な実施主体】

- ・浦賀地区及び鴨居地区連合町内会
- ・浦賀地区社会福祉協議会

【実施状況】

- ・赤十字奉仕団浦賀分団の献血事業や普通救命講習会の参加賞としてソーラー式LEDライトとホィッスルを配布する。（当面継続していく）
- ・浦賀地区社会福祉協議会高齢福祉部会が毎年2月頃に地域の一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者等を慰問してお茶を配布していたが、平成23年度はお茶に代えて、ソーラー式LEDライトとホィッスル（約1,300セット）を配布する。（平成24年度以降も継続してもらいたい旨を打診している）
- ・浦賀地区及び鴨居地区連合町内会の有志町内会・自治会で希望者を募り、共同購入し、地域全体に普及していく。（当面継続していく）
（例）
鴨居みかん台自治会、中台町内会で実施した。
民生委員等を通じて、順次、共同購入希望者が増えてきている。
- ・なお、平成23年度末で総購入数3,000セットに達している。

子育て 1 未就園児や未就学児を対象に、リトミックや読み聞かせなどの活動をしている団体と協働して、通年で子育て支援事業を展開する。

【主な実施主体】

- ・浦賀コミュニティセンター
- ・市民公益活動団体等

【実施状況】

- ・リトミックサークルWITHと連携して、「子どもリトミック」を毎月2回実施している。
- ・読み聞かせサークルなかよしと連携して「読み聞かせ」を毎月2回実施している。

↑

これらの団体の施設先行予約と周知活動に協力している。(平成25年度も継続予定)

- ・NPO法人ぽっかぽか荘とNPO法人キッズポケットと連携して、「赤ちゃん広場」を独自に実施している。浦賀コミュニティセンターと鴨居コミュニティセンターで交互に隔月で実施している。なお、浦賀地区社会福祉協議会児童福祉部会等が協力している。
- ・NPO法人ぽっかぽか荘と連携して①助産師の行うマタニティヨガ、②育メン講座としてベビーマッサージなどを実施している。

↑

これらの団体の協力を得て、浦賀コミュニティセンターの自主講座を展開している。

防犯防災1 地域の井戸の再生を行い、地域コミュニティ再生へのきっかけづくりを行う。

【主な実施主体】

- ・赤十字奉仕団浦賀分団
- ・連合町内会及びクリーンよこすか市民の会
- ・各町内会・自治会（地域での展開）

【実施状況】

- ・浦賀行政センター管内の実態調査を実施した。
- ・平成22年度にデータを地図上に落とし、各町内会自治会へ配布した。(現在活用中の井戸166本、再生可能な井戸121本)
- ・平成22年度に3本の井戸を再生した。(新町町内会・洲崎町内会)
- ・平成23年度に浦賀地域で5本(浜町町内会、東浦賀1丁目町内会、芝生町内会)、鴨居地域で2本(東町内会、宮原町内会)の井戸を再生した。

- ・平成 24 年度は浦賀地域で 2 本（高坂町内会、東浦賀 1 丁目町内会）、鴨居地域で 6 本（腰越町内会 2 本、北方町内会 4 本）の井戸を再生した。（平成 24 年 12 月 1 日現在）
- ・「災害時用井戸」と記載している札を順次配布した。
（浦賀地区は平成 23 年度、鴨居地区は平成 24 年度に配布済み）
- ・井戸の再生事業は、災害時の生活用水（水洗トイレや洗濯など）を確保する目的で実施しているが、飲料も可能とするために、災害時用飲料水製造装置「MizuQ500」を 10 台程度購入し、浦賀地区に 5 台、鴨居地区に 5 台を配架した。また、浦賀行政センターに貸出用モニター機 1 台を用意している。
平成 24 年度も赤十字奉仕団浦賀分団として、災害時用飲料水製造装置「MizuQ500」を 6 台程度購入し、浦賀及び鴨居地区に 3 台ずつ配架した。
- ・平成 24 年度は赤十字奉仕団浦賀分団の事業として、①水中ポンプの貸出し、②地域度行う井戸再生事業の支援金（10,000 円）の交付を位置付けている。平成 25 年度も同様に考えている。

防犯防災 2 町内会館・自治会館で防犯グッズや防災グッズの常設の見本展示を行い、併せて防犯や防災の講座などを実施する。

【主な実施主体】

- ・各町内会・自治会（地域での展開）

【実施状況】

- ・平成 21 年度に荒巻町内会が三浦半島活断層調査会の協力を得て、「地震防災」と「木造住宅の耐震補強」の講演会を実施した。
- ・平成 23 年 11 月 26 日（土）に浦賀地区連合町内会が三浦半島活断層調査会の協力を得て、「地震防災」等に関する講演会を実施した。
- ・地域安全課の防犯モデル地区に応募し、平成 22～23 年度の防犯モデル地区に指定され、「防犯」部分に関しては、年間 100,000 円の補助を 2 年間受けた。その結果、浦賀地区 5 町内会・自治会（浦賀京浜、荒巻、高坂、新町、吉井）と鴨居地区 5 町内会・自治会（鴨居みかん台、中台、二葉一丁目、二葉 2 丁目、県営浦賀かもめ団地）の町内会館・自治会館に防犯グッズを常設展示している。また、浦賀中学校・鴨居中学校・鴨居コミュニティセンター・浦賀コミュニティセンター（貸出用も兼ねる）にも防犯グッズの啓発パネルを設

置している。

- ・防犯グッズの啓発用チラシを作成し、管内の全世帯に回覧した。

防犯防災 3 学校と地域が連携し、街路防犯灯の充実を図っていく。

(既存の助成制度の要件の見直しが多少必要か)

【主な実施主体】

- ・各町内会・自治会（地域での展開）

【実施状況】

- ・複数の町内会・自治会にまたがる場合には、連町でも申請主体になれるよう検討してほしい旨、行政センターを通して担当部局に申入れを行った。そして、平成 24 年 6 月 5 日に地域安全課の吉本主査と協議を行った結果、①連合町内会が主体でも街路防犯灯の新設は可能である、②既存の街路防犯灯の連合町内会への移管に関しては、当事者間で取り交わした確認書の提出があれば可能であるという結論に至った。
- ・この関連で、現在、防犯カメラ付き自動販売機の導入に向けて調整も行っていく。一先ず、平成 22 年度に業者（有限会社アートテクニカ）へのヒアリング及び資料収集済み。

防犯防災 4 防犯パトロール・子ども見守り隊を始めとした、浦賀行政センター管内の各町内会・自治会で実施している事業の情報収集及び成功事例の紹介

【主な実施主体】

- ・各町内会・自治会（地域での展開）

【実施状況】

- ・平成 23 年 9 月に浦賀地区連合町内会及び鴨居地区連合町内会に所属する各町内会・自治会にアンケート調査を行い、その結果を資料として取り纏め、各町内会・自治会長、浦賀警察署、地域安全課、危機管理課、市民生活課などへ情報として提供した。

防犯防災 5 地域安全課、消費生活センター、NPO 法人等と連携して、「オレオレ詐欺に遭わないために」、「リフォーム詐欺にご用心」などの講座を実施する。

(既存の市民公益活動団体等と連携して実施)

【主な実施主体】

- ・浦賀地区及び鴨居地区連合町内会
- ・浦賀地区社会福祉協議会
- ・各町内会・自治会（地域での展開）、市民公益活動団体等

【実施状況】

- ・NPO法人産業クラスター研究会が「リフォーム詐欺にご用心」を平成21年度に浦賀コミュニティセンターで、22年度に鴨居コミュニティセンターで実施した。平成23年度も1月24日に浦賀コミュニティセンターで実施した。

↑

コミュニティセンターを会場として実施しても中々参加者が集まらないのが実態である。リフォーム詐欺に関しては、実際にリフォーム詐欺にあってしまった場合に初めて、何とかならないかと困るのが現状であり、事前の啓発は中々難しい。

- ・平成22年度は「福祉のつどい」の中で、「オレオレ詐欺に遭わないために」というタイトルで講習を行った。

活性化1 観音崎公園内に桜を試験的に植樹する。

（鴨居連町で負担。本格的な実施には寄付を集める。）

【主な実施主体】

- ・鴨居地区連合町内会

【実施状況】

- ・平成21年度、22年度に河津桜等を各30本植樹し、根付くことが確認できた。
- ・平成23年度は平成24年2月18日（土）に第3回植樹祭を開催し、高さ3mの河津桜と陽光桜を各10本の計20本植樹した。
参加者約300人（ケンコウ・鴨居・岩波幼稚園児等含む。）
- ・平成24年度も平成25年2月24日（日）に第4回植樹祭を開催し、高さ3mの河津桜等を計20本植樹する。
- ・平成25年度は、第5回を節目の年とし、広く一般から寄付を集める方法等を検討する（例えば、記念植樹として）。

活性化2 住友重機械工業(株)の機関工場内に、仮設の舞台を設置し、月例コンサートなどを実施する。

（「浦賀商友会」と「中島三郎助と遊ぶ会」等が実施）

【主な実施主体】

- ・「浦賀商友会」と「中島三郎助と遊ぶ会」

【実施状況】

- ・平成 21 年度に「中島三郎助まつり」を実施した。
- ・住友重機械工業(株)の機関工場内に、パイプイスなど 150 脚、折り畳み式ステージ（2.4m×1.2mを 3 台確保）を常備した。
- ・平成 23 年 1 月 29 日（土）、平成 24 年 1 月 29 日（日）に「中島三郎助と遊ぶ会」と「浦賀商友会」が中島三郎助まつりを行った。
- ・平成 25 年 1 月 20 日（日）に「中島三郎助と遊ぶ会」と「浦賀商友会」が中島三郎助まつりを行う予定である
- ・平成 24 年 3 月 24 日（土）に、浦賀コミュニティセンターの講座として行っている『スプリングコンサート』を、「浦賀商友会」及び「中島三郎助と遊ぶ会」と連携して、住友重機械工業(株)の機関工場内で実施し、入場者数 600 人と大盛況であった。
- ・平成 24 年度に（財）自治総合センターの一般コミュニティ助成制度（いわゆる宝くじ補助金）を使って、災害時にも活用できるヤグラ式ステージを購入した。（平成 24 年 7 月末に納品済み）

活性化 3 8 月に浦賀コミュニティ広場で盆踊りを実施する。

（浦賀地区連合町内会が中心となって実施することを想定）

【主な実施主体】

- ・浦賀地区連合町内会

【実施状況】

- ・平成 22 年・23 年・24 年 8 月に「浦賀地区盆踊り大会」を実施した。
- ・平成 25 年 8 月にも「浦賀地区盆踊り大会」を実施する予定である。

活性化 4 市民公益活動団体や観光協会と連携し、「浦賀の歴史」・

「浦賀の景観」などの写真展を実施する。

【主な実施主体】

- ・浦賀観光協会ほか

【実施状況】

- ・平成 21 年度に「スキスキ浦賀」という団体が写真展を行い、浦賀観光協会が後援した。

- ・平成 23 年度に「浦賀の景観」のポストカードを作成した。
(観音埼灯台、燈明堂、渡船、東・西叶神社等)
- ・平成 23 年 12 月 5 日 (月) ~ 28 日 (水) に「スキスキ浦賀」が第 2 回写真展「浦賀・鴨居地区の祭礼」のテーマで行った。
- ・平成 24 年度以降は、浦賀観光協会の事業の一つとして、デジタルフォトフレームを使って、浦賀行政センター、鴨居コミュニティセンター、浦賀病院などで、浦賀・鴨居地域の史跡や観光スポットやイベントを紹介する事業を行っている。

活性化 5 鴨居コミュニティセンターで「とっぴきぴ一踊り」の講座を実施して、後継者の養成を試験的に行ってみる。

- ・平成 22 年・23 年度と鴨居八幡神社の祭礼の時に脇方町内会で、とっぴきぴ一踊りが実施され、継続されている。
↓
復活した踊りの映像はDVDに収めたが、祭礼の時に帰郷した人が中心となって実施しているので、後継者を育成するための指導者が在住していないので、後継者の育成は難しいと思う。
- ・平成 25 年度からダンスが中学校体育の必修になるのに合わせて、鴨居中学校で地域の人から「とっぴきぴ一踊り」を習うことを検討してくれることとなった。

活性化 6 浦賀地域にある「鰻絵彫刻」を見直し、活用する。 (後継者の育成も含め)

【主な実施主体】

- ・浦賀探訪くらぶ
- ・観光ボランティアガイド (浦賀地区担当)
- ・浦賀コミュニティセンター

【実施状況】

- ・平成 23 年 4 月 1 日 (金) ~ 6 月 30 日 (木) に浦賀コミュニティセンターの展示スペース等を使って、「浦賀の鰻絵」展を行った。
- ・平成 24 年 3 月 1 日 (木) ~ 5 月 31 日 (木) に浦賀コミュニティセンター 2 階の展示スペース等を使って 2 回目の「浦賀の鰻絵」展、9 月 1 日 (土) ~ 11 月 30 日 (金) に 3 回目の「浦賀の鰻絵」展を実施した。

- ・平成23年8月15日（月）～8月19日（金）に市役所本庁舎1階で「浦賀の鰻絵」展を行った。
- ・コミュニティセンターの講座として、平成23年5月に「浦賀の鰻絵」散策と「鰻絵教室」を開催し、後継者の育成を始めた。平成24年度も7月に実施した。
- ・NHK総合「こんにちは、一都六県」という番組で紹介された。（放映日時6月21日（火）11時30分頃から5分間程度）
- ・浦賀行政センターのホームページ「浦賀の歴史とふれあう散策ルート」の中に「浦賀の鰻絵」というページを作成し、情報を発信している。
- ・浦賀観光協会の平成24年カレンダーに、「浦賀の鰻絵」の写真及び説明文を掲載した。（西叶神社、東福寺、川間町内会館の鰻絵）平成25年カレンダーには、常福寺の鰻絵を掲載した。
- ・平成23年度に、大六天榊神社の鰻絵及び狛犬の修復を、川間町内会を中心に行った。
- ・川間町内会館の鰻絵が平成23年度の横須賀景観賞「景観づくり活動部門」を受賞した。
- ・平成24年3月9日（金）浦賀国際文化村推進協議会勉強会に於いて、社団法人神奈川県建築士会により紹介された。

活性化7 鴨居小学校前の河川（和田川）の美化再生

環境1

【主な実施主体】

- ・鴨居地区連合町内会
- ・クリーンよこすか鴨居地区市民の会

【実施状況】

- ・平成23年9月23日（金・祝）に和田川の美化清掃を行うとともに、アユやウナギ等の生息を確認した。
- ・平成24年9月22日（土）に実施した。また、鴨居地区連合町内会でアユやニホンウナギを採らないでという啓発看板3枚を設置した。

活性化8 愛宕山の桜を再生する。

【主な実施主体】

- ・浦賀地区連合町内会

- ・浦賀観光協会

【実施状況】

- ・具体的な内容については、平成24年度に検討していく。

↓

以前、柳町町内会で蒲谷前市長に要望書を提出しているが、再度、観光協会や連合町内会等の連名で要望活動を展開していく。

活性化9 平成32年（2020年）に浦賀奉行所が開設300年を迎えるのに合わせて、浦賀奉行所跡地に奉行所復元又は歴史公園を建設することを要望していく

【主な実施主体】

- ・浦賀観光協会
- ・浦賀地区連合町内会
- ・中島三郎助と遊ぶ会
- ・観光ボランティアガイド（浦賀地区担当）

【実施状況】

- ・今後の方針を平成24年度に決めていく。

↓

観光協会や連合町内会等の連名で要望活動を展開していく。

環境2 観音崎公園内にビオトープを再生する

【主な実施主体】

- ・鴨居地区連合町内会
- ・環境カウンセラー（環境へオブザーバーとして参加）

【実施状況】

- ・現在、実施に向けて、打合せやフィールドワークを行っている。
- ・環境部会の活動日を、毎月第3木曜日に決定した。

人材バンク&団塊の世代の地域参加促進プロジェクト

【実施状況】

- ・プロジェクトチームで検討を行っているが、生涯学習の講師やサークル活動などのデータベースは既に浦賀コミュニティセンターや生涯学習財団等が持っており、また、NPOを始めとする市民公益活動団体のデータベースも横須賀市立市民活動サポートセンターが持

っているので、このような活動のデータベース（人材バンク）は必要ない。

- 地域で必要な情報は、高齢社会に伴って必要となってきたいる福祉有償ボランティアを地域に立ち上げるため、必要な技術（庭木の剪定、草刈り、電球の取り付け、簡単な家事など）や知識（パソコンなど）を持っている地域の人材の情報だということで検討している。
- 平成 24 年 11 月に有償ボランティアのマッチング活動を行っている茅ヶ崎市の地区ボランティアセンターを視察した。